

第48回 高輪築堤調査・保存等検討委員会【部会②】

日時：2024年10月2日（水）

部会②・部会③ 10:00～11:00（予定）

場所：JR 東日本現地会議室

次 第

【部会②】

(1) 開会

(2) 京急線連立 JR 西口駅舎付近仮設化（仮受け）工事計画について 【資料1・2】

(3) その他

(4) 閉会

京急線連立 2工区 仮設化 (仮受け) 工事計画について

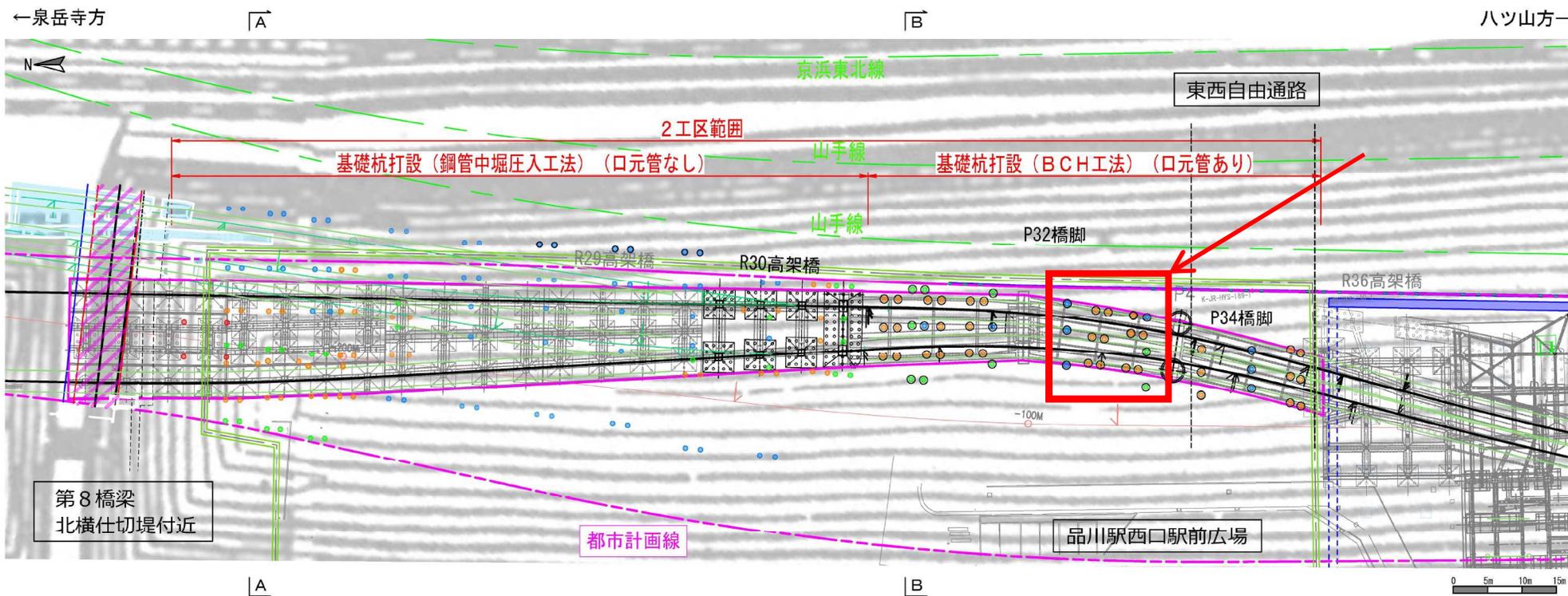
2023. 7. 5

資料3

2

平面図

2工区範囲 今後の工事予定 (地山を乱す範囲)

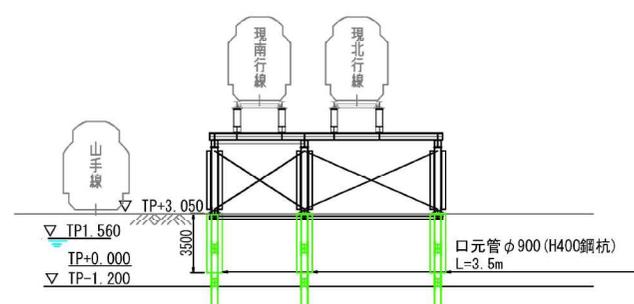
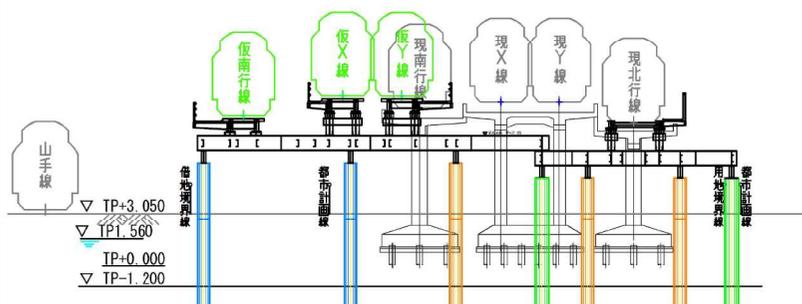


断面図 (仮受杭) A-A断面

断面図 (仮受杭) B-B断面

既設高架橋範囲内の杭 107本

既設高架橋範囲外の杭 82本 計189本

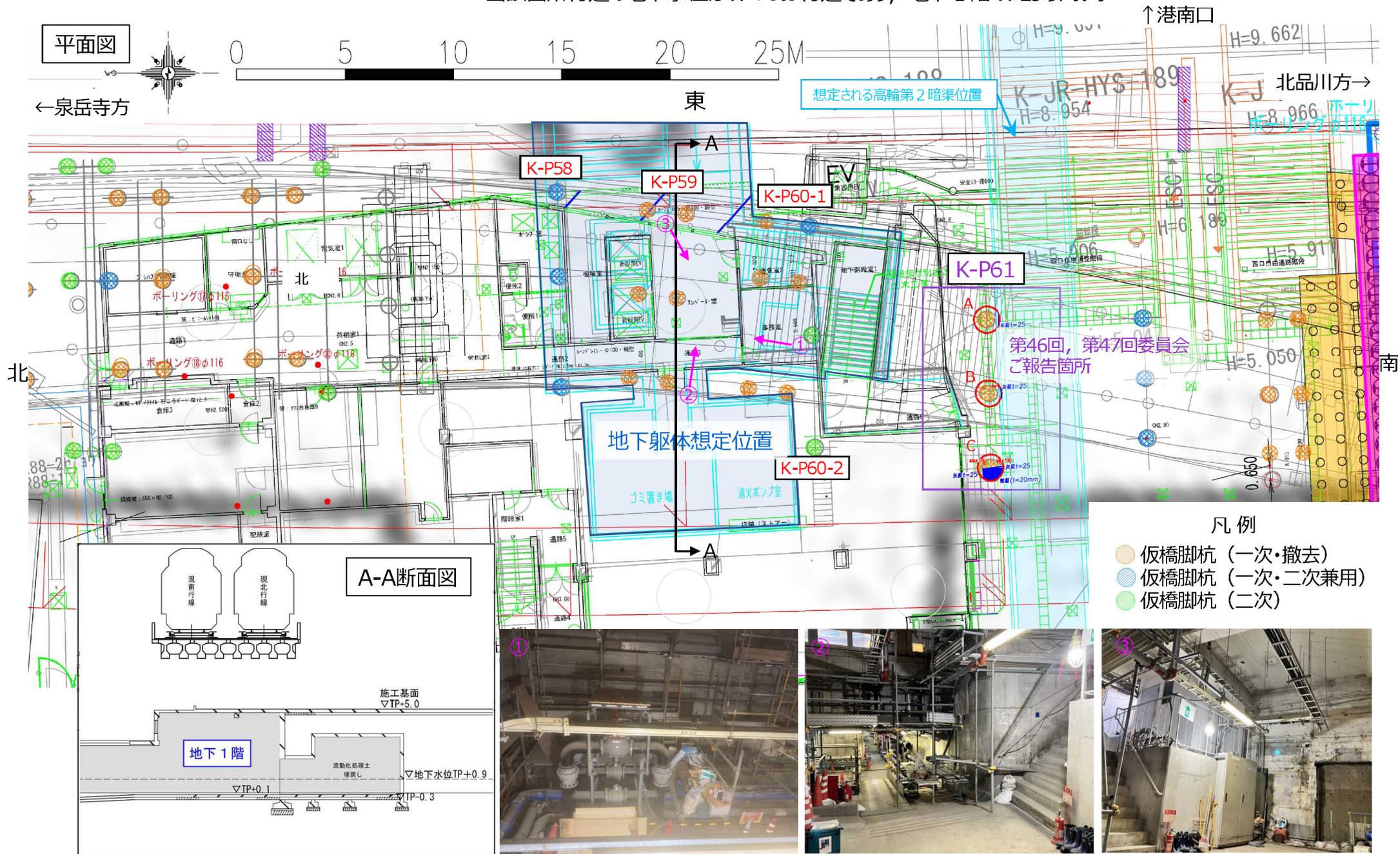


凡例

- : 仮受杭 (一次)
- : 仮受杭 (一次) 口元管あり
- : 仮受杭 (一次・二次兼用)
- : 仮受杭 (一次・二次兼用) 口元管あり
- : 仮受杭 (二次)
- : 仮受杭 (二次) 口元管あり
- : R24仮橋脚

1. 仮橋脚K- P58~K-P60-2の杭打設計画

- ・杭打設計画箇所付近は、JR東日本品川駅西口駅舎の地下構造物およびインフラ設備が現存。
- ・当該箇所付近の地下水位はTP+0.9付近であり、地下1階のFLより高い。



周辺のボーリング調査成果について

【資料2】



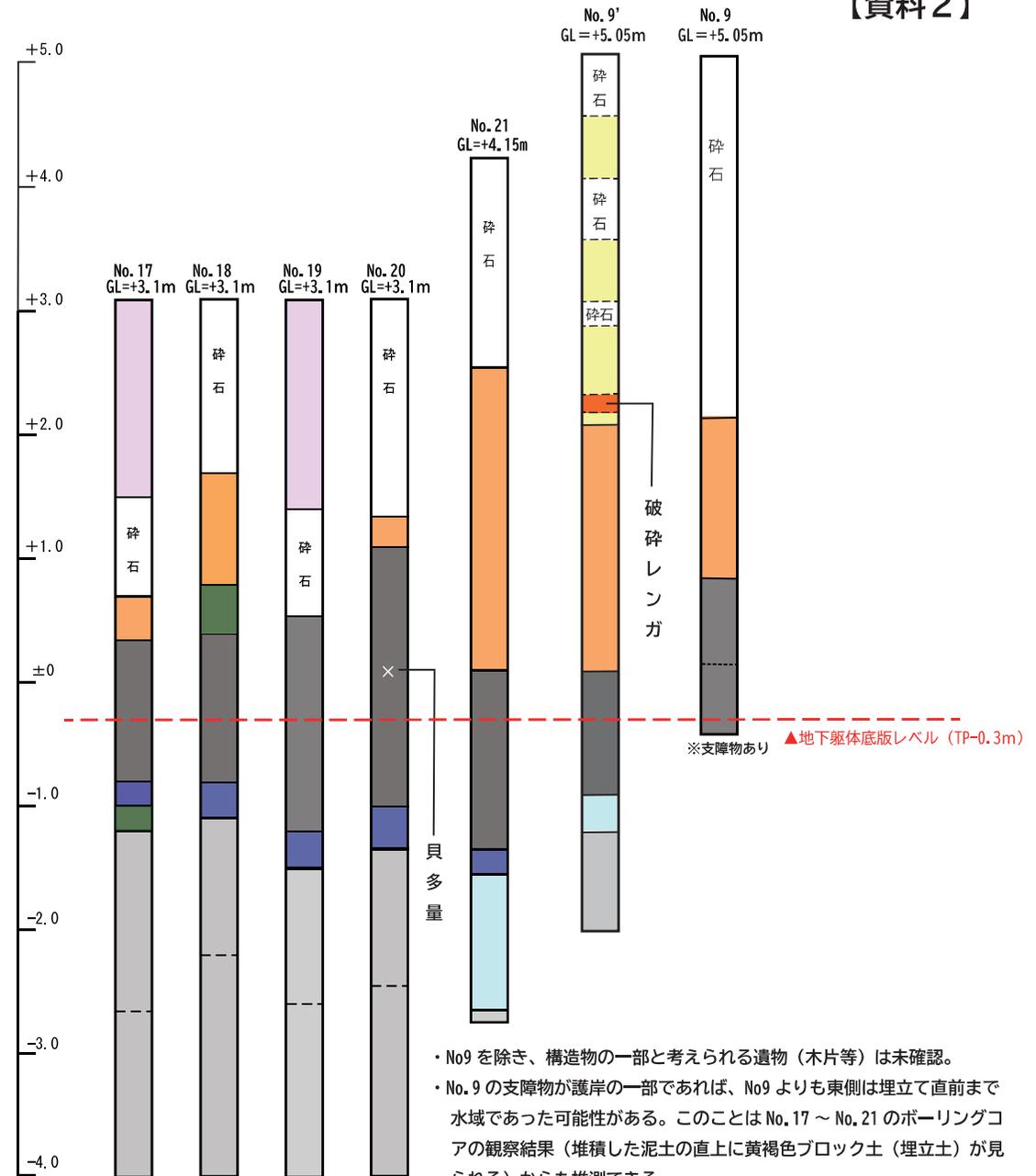
【凡例】 ※柱状図のスケールは 1/40、数字は標高値 (TP)

- | | |
|---|--|
|  コンクリート |  黒褐色シルト (貝片混じり) |
|  ロームブロック土 (炭化物含む) |  オリーブ色粘土ブロック |
|  黄褐色ブロック土 (埋立土) |  軟質シルト (自然堆積層) |
|  暗灰色粘質土 (泥土) |  硬質粘土層 (自然堆積層) (破線より上はやや軟質) |

ボーリング柱状図は、以下の資料から転載の上、土層の彩色を統一した。

- ・ No. 9 : 第 35 回検討委員会 (2023 年 9 月 6 日開催)
- ・ No. 9' : 第 36 回検討委員会 (2023 年 10 月 4 日開催)
- ・ No. 17 ~ No. 21 : 第 44 回検討委員会 (2024 年 3 月 6 日開催)

※No. 21 は第 41 回検討委員会 (2024 年 3 月 6 日開催) で写真報告。



- ・ No.9 を除き、構造物の一部と考えられる遺物 (木片等) は未確認。
- ・ No.9 の支障物が護岸の一部であれば、No.9 よりも東側は埋立て直前まで水域であった可能性がある。このことは No.17 ~ No.21 のボーリングコアの観察結果 (堆積した泥土の直上に黄褐色ブロック土 (埋立土) が見られる) からも推測できる。
- ・ 周辺のボーリング調査成果から、地下躯体が残存している範囲では、すでに泥土よりも上層が一部が、躯体構築時に攪乱されている可能性が高い。
- ・ 泥土の直下は黒褐色砂層、その下に基盤層 (硬質粘土層もしくは軟質シルト層) が確認されていることから、遺構が残存している可能性は極めて低いと考える。